

# かわじまウオッチング

第 6 号  
平成28年7月30日



かわみん



かわべえ

## かわじま地域探訪倶楽部

新井孝政 急式米子  
鈴木宗一 花木登茂子  
榎本角雄 山田芳子

# かわじま輪中の郷ウォーキング

かわじま春祭り さわやかな風を感じて歩こう“川島つつみ”の紹介をします。



◎川島町教育委員会生涯学習課に伺いました。  
○このウォーキングの第1～6ポイントを通り抜けた一週距離は、30.0kmとのことでした。

○健康増進と体力づくりを目的に、町内外からたくさんの方がウォーキングに来られました。記録された参加人数は、1539名でした。



○歩き出しの各ポイントで、チェックカードが配布されました。



○各ポイントでは、通過のチェックやカードへの押印ばかりでなく、飲料水の補給、軽食販売、農産物の試食などの用意や心配りが、関係者の方々によって、充分になされておりました。  
○町一周のこのウォーキングは32回目となりました。今回、強風に悩まされましたが、完歩された方は507人、金賞の方は、2人でした。  
○大会運営のご苦勞として、安全への配慮やコースを明確に示す矢印の表示、トイレの設置、協力組織への連絡の徹底などで、たくさんおありだったことが、伺ったお話から、充分に察せられました。



鈴木 宗一 記

## 川島町の古墳・遺跡

平成 27 年、小見野公民館主催の教養講座『郷土の歴史を学ぼう！』に参加しました。講師は、利根川徹さんです。定年退職を経て 70 歳近くになると、生まれ育った川島町の昔に何故か興味がそそられます。今回は、上記講座から、小見野地区の古墳・遺跡について調べた事をご紹介します。尚、川島町史資料編の写真、文章を借用・参照させて頂きました。

### 『稲荷塚古墳』



**概要**；川島町大字下小見野辻ヶ谷戸。小見野小学校北北西部約 1Km にあります。かつて、この地域には 10 数基の古墳が築造されたと言われていたようですが現在では本古墳のみが現存しています。本古墳は民家の屋敷裏にあり、北側の墳丘裾部分に用水の攪乱を受け、さらに南側を民家で削平されており、全体の 1/3 程が形態をとどめているに過ぎない状態です。現存する部分からでは古墳の形態等を推測するのが困難であり、円形を呈するものと思われませんが規模は不明です。

**出土遺物**；昭和 26 年に敷地内の耕作中に、馬の頭部と脚部 2 本の埴輪が出土しました。これは 6 世紀前半の所産と推定されています。現在小見野小学校に保管されています。



### 『大塚古墳』

**概要**；川島町大字東大塚字居村。八ッ保小学校の北側約 300m の小学校の対岸にあたる自然堤防上にある。本古墳は荒川の堤防に取り込まれ、昔の



面影を窺うことは出来ないが、墳丘径 36m 以上、高さ 5.5m の大規模な円墳であったと伝えられています。

**出土遺物**；緑泥片岩の組合せ式箱型石棺で現在川島中学校の駐車場脇に復元展示されています。屋外にあり、劣化が心配されます。



### 『芝沼堤外遺跡』

**概要**；川島町大字芝沼地先。荒川に架かる荒井橋の下流約 800m 地点の芝沼堤外です。遺跡周辺は旧荒川が大きく蛇行する地点で、昭和 47 年に開削されています。近年、国土交通省によるビオトープ建設が行われた際、遺跡の存在が明らかになりました。平成 11 年 11 月～12 月にかけて川島町教育委員会が確認、調査を行っています。

**出土遺物**；縄文時代前期後半の土器が多数出土しました。現在は、コミュニティーセンター一階フロアに展示されています。



今回、調べた結果川島町にも沢山の古墳、遺跡があることを知りました。町民の皆さんにも知らせていくことが必要であります。また、町としても保存管理に力を入れて頂きたいと考えます。川島町の古墳・遺跡巡りコースの設定を町で検討頂きたいと思っております。

新井 孝政 記

# 『九頭龍大権現』様に見守られて

先日、下伊草の堤防下を散歩中にふっと横に目が・・・「九頭龍大権現」様の石碑が目に入りました。何の神様かなと思い、家について聞いたところ「水の神様」と小さい時に聞いたとのことでした。川島町は四方を川に囲まれていますので、他の場所にもきっとあると思い調べるとともに、6月5日に現地を調査しました。

※ 「九頭龍大権現」様とは～水の流れをしっかりと管理してもらおうと祀った神様で、洪水が起っても堤内に入って来ない様に守ってくれる、そして堤防に祀った場所はしっかりと守られ、どんなに厳しい洪水時でも、決壊は免れるというご利益はたいしたものだったそうです。

## 川島内の「九頭龍大権現」・「水の神」様の祀ってある箇所

### ∴下伊草地区内の「九頭龍大権現」様

石碑には、明治43年8月10日破堤と刻まれ、そして明治45年4月建之と記されています。明治40年8月中旬連日の豪雨で川島領6か村は一大湖化となり、明治43年8月5日、6日は豪雨連日、8日には荒川、入間川、越辺川、市野川が氾濫し、この時上伊草、下伊草、角泉地内堤1か所決潰、平成27年9月関東、東北豪雨による茨城県常総市等の堤防決壊の大惨事に類するものと思われます。



写真：下伊草地区内「九頭龍大権現」

### ∴鳥羽井沼地区内の「九頭龍大権現」「一目蓮大明神」様

川島領大囲堤で一番弱かった場所は、荒川の水をまともに受ける鳥羽井沼付近で、この辺りは堤防が決壊する度に出来る沼が何か所かあり、鳥羽井沼、松永沼、谷中沼などです。そこで鳥羽井沼の近くの元堤防上に、1806年「九頭龍大権現」様を祀り、本殿は、長野県の戸隠神社の神様を勧請し、今年で210年経ったそうです。右隣に「一目蓮大明神」様、三重県の伊勢の国から勧請して社殿を建立、この時に植樹したサクラの木が一度は枯れてしまったのに現在新芽が出て花を咲かせているとのこと、この

場所で偶然お会いした利根川徹先生に上記をご教示いただきました。



写真：鳥羽井地区内「九頭龍大権現」

### ∴長楽地区内の「九頭龍大権現」様 (2か所)

長楽には、「九頭龍大権現」様が2か所に祀ってありました。1か所は前にあった早俣橋の手前堤の一段下がった所に、石碑は劣化が激しく、かすかに「大権現」様と読むことが出来ましたが500m離れた場所にも「九頭龍大権現」様が祀ってあり、さらに劣化が進んでいるため文字は確認出来ませんでした。現在この役員をしている宇津木様とお話が出来、毎年長楽地区で8月27日に祭典を行い、当番の方がお団子などをお供えするそうです。

### ∴出丸中郷地区内の「曳船天満宮」様

川島町南東端にある「白山大神社」様と並んで向かって右のお社が「曳船天満宮」様でした。出丸の方に「九頭龍大権現」様のお話をしたところ、水の神様が祀ってあるとの情報を得て現地へ、何軒かお訪ねしましたがお留守で情報を得ることは出来ませんでした。

※ 神様にはお米とお塩をお供えいたしました。  
参考文献：川島郷土誌より

急式 米子 記

## 桜の季節も終わって



満開に咲いていた桜が、花散らしの雨や風で道路に、川に、まわりの樹木に、春を惜しむかのように散っていきました。



川面に漂う花びらは、少しずつ集まって花筏を想わせる様子を見せています。



桜の花って特別な花という気持ちになります。開花宣言の際のほころびかけた数個の淡いさくら色を目にしたとき、もうすぐ次々と花開いて行く大きな桜の古木が目には浮かびます。

多くの人を楽しませ、たくさんの桜観の場から歓声があがり……。

やがて、花びらが一片 またひとひらと額から離れ、散りゆく花びらにも、気持ちを寄せ春は過ぎて行きます。

みかんの花の芳醇な香り。柿の葉が陽の光を浴びた時の黄緑色。



周囲にある木の葉は、明るい緑から深い緑まで、微妙な色合いです。

花の春はすぎ、若葉やあお葉の時期季節は、移っています。



間もなく六月。梅雨空が多くなります。紫陽花もちいさな蕾をつけ、梅雨を楽しもうと準備中です。ピンク・青・白・紫・などなど多様な色と種類で観る者の目を楽しませてくれるでしょう。

花木 登茂子 記

5月5日は五節句のひとつ「端午の節句」です。男の子の誕生を祝い「無事に成長して、強く立派な男子になるように」という家族の願いが込められています。

節句はもともとは中国の風習からきており、邪気や魔物を払うという厄払いの行事で、日本に伝わったものです。

鎧や兜を飾ることは武家社会から生まれた風習で「身の安全を守って、交通事故や病気にならないように」との願いが込められています。

★遠山邸の大広間では室内飾りの一式が飾られ、庭ではこいのぼりの下でかわいい亭主によるお茶会が開かれていて一服頂きました。お菓子は町の花「花しょうぶ」を模した和菓子で美味しく、薄茶もまろやかな味で至福のひとつきでした。

★5月5日の日は平成の森公園ではかわじま春まつりの一環としてちびっこフェスティバルが開かれ楽しそうなイベントが盛りだくさんで、体験コーナーでは金魚すくい、魚のつかみとり、船乗り体験など、模擬店も多く出店していてにぎやかでした。



遠山邸の庭で元気に泳ぐこいのぼり



ふわふわドームの前で順番を待つ家族づれ



遠山邸の室内飾り



江戸時代のころには室内飾りでは鎧兜の他に武者人形、金太郎、桃太郎、鍾馗<sup>しょうき</sup>などおとぎばなしの主人公も加わりましたが、現在では鎧兜が主流のようです。

修景池ではボートでの船乗り体験が行われ子供も大人も救命道具を付けて乗り込み、ゆつくりと一周を楽しんでいました。

山田 芳子 記

## 平成の森公園 ウォッチング

新庁舎展望から見る平成の森公園に、桜の開花と共にたくさんの花が咲き始めました。週に数回の、ウォーキング後、公園の花が順次咲くのを見ることを、唯一の楽しみにしています。



日本一長いぼらのトンネルから出ると、北側のぼらも、植えて数年と思いますが、個性があり、今年は特に色鮮やかに咲いていました。日常の手入れの賜物と感謝いたします。

さて、加齢とともに脳の衰えに伴う代表的症状が認知症ですが、予防はどうしたらよいか、生活習慣の工夫を検討しています。運動はウォーキングとハッピー体操、その他、家庭菜園、料理と、その日の行動が体力に負担を感じたときは食後20分位の昼寝をとります。特に7、8月は暑さで、体力が落ち元気がなくなり、免疫力の低下にもつながり、また湿度や気温の上昇に伴う脳の疲労が重なります。其の点はハッピー体操に参加して、レクで記憶力を積極的に取り入れています。グループになって動くと、楽しいから和ができる、という気持ちになります。多くの参加者がいるからなせる事と、大きな予防効果だと、思っています。

福本 角雄 記



たんぽぽがたくさん咲いています。自然に育つて来たようですが、強い生命力を感じます。思わず足を止め見いってしまいました。環境が整っていた様です。



川島町マスコットキャラクターかわべえ & かわみん

## ごあいさつ

わたくしたちは、川島町地域包括支援センター主催による認知症予防の“若返り脳講座”の受講者です。“かわじまウォッチング”は若返り脳講座の活動内容の一つであるミニコミ誌の名称です。私たちの住んでいる地域をもう一度見直し、川島町の魅力を探求したいと活動しています。

あらためて、皆様には、川島町についての関心を深めて戴くきっかけになれば幸いです。

かわじま地域探訪倶楽部一同